

講演は、5段階に分けて構成しています。

その1 先ずは、自閉症の存在を知っていただき、立場役割の違う人々が、例えば、教師と生徒と保護者、上司と部下、福祉サービス利用者と支援員など、共に理解共有を深める事に注視した人権研修として、ご依頼頂けましたら幸甚に存じます。

その1 発達障がい理解 (110分)

対象 一般(小学5年生以上) 保護者 教職員 施設職員 等

目的 内容

その1は、発達障がい「世界自閉症啓発デー」のリーフレットの順に沿って、「世界自閉症啓発デー」とはどんな日なのか？そもそも自閉症とはどんな障がい？ 自閉症の方とどうやって接したら良いの？の3つのテーマについてお話しさせていただきます。「なぜ、自閉症の方は、この様な行動をとるのだろうか？」という疑問の解決への糸口として、資料映像から、自閉症児・者の気持ちを体験して頂くワークを行い、自閉症を理解して頂く内容になります。支援者のみ保護者のみの参加といった枠組みではなく、色々な立場の皆様で発達障がい児・者に対して考えて頂ける講演になっていると思っております。発達障がいを理解する事から、先ずは発達障がいを知る事から講演を始めて参ります。

小学校や特別支援学校の教職員の方や、地域の支援者団体の職員の方の研修でも講演させても頂いておりますが、人権研修セミナーとして中学生・保護者・教職員が一同に揃って参加する「親子ふれあい講演会」という学校参観の授業としても講演させて頂きまして、中学生の生徒の皆様や保護者の方から嬉しい感想も頂きました。

その2 構造化と舞台の仕事で学んだ事 (120分)

対象 一般(中学生以上) 保護者 教職員 施設職員 等

目的 内容

講師の舞台照明家としてのエピソードや子育てでの出来事をお話しさせて頂きながら、「なぜ青が癒しの色なのか？」「なぜブルーにライトアップするのが支援に繋がるのか？」という疑問や、自閉症の支援の基本的取り組みである「構造化」が、舞台の世界では長年実践されていた実態をお伝えして、福祉の分野とは別の異業種の視点で自閉症をはじめとする発達障がいに対する想いをお伝えさせて頂き、発想の多様性を考える内容です。

その3 発達障がいへの対応の一例（60分）

対象 教職員 施設職員 等

目的 内容

その3は、20年間の娘の子育て経験と15年の福祉職員としての体験で学んだ事から得た支援（子育て）方法を、支援の一例として映像を教材にして検証する内容です。自閉スペクトラム症でIQ18の知的障害のある児童が、苦手なエスカレーターを克服するまでの支援の声かけの仕方や、スクールバスから一般交通機関でのバス通学へ移行するまでに起こったエピソードと、バス通学が定着するまでの実践した事について、小学3年生の頃から突然注射が苦手になった娘が、どのようにして苦手を克服してか、今では注射を平気で出来ている様子など、記録映像を見て頂きながら解説します。

その4 困難事例を解決する魔法の言葉（60～120分）

対象 教職員 施設職員 向けと 一般向け

目的 内容

舞台の現場で体験した著名な司会者の印象深い言葉と、友だちの声かけで勇気を貰いあきらめず目標達成する事が出来た幼稚園園児の身に起きた出来事を通じて、利用者への印象良い声かけをする為に、ポジティブアクションとネガティブアクションを意識したイントネーションや声かけの仕方、言葉の選び方言葉の持つ力「言葉は言霊」を実感して頂く内容です。

その5 事例検討と連携について（60分～120分）

対象 教職員 施設職員 福祉施設管理者

目的 内容

その1からその4までを振り返り、自閉症をはじめとする発達障がいの方への支援を改めて確認し、場に合った支援が出来るか、身近に有る自閉スペクトラム症に関して抱えていらっしゃる問題をQ&Aで探り、各々の立場からの意見交換を通して、解決に向けての情報共有を行います。

これら、上記の講演は、大分市障がい福祉課の主催する『大分市共生社会ホストタウン事業「心のバリアフリー研修』や大分県発達障がい者支援センター「イコール」が窓口となっている『大分県発達障がい者支援専門員スーパーバイザー派遣事業』に於ける助成などを活用頂き、講演依頼を頂けますと有り難いです。

この講演研修が少しでもご視聴頂く皆様にとって、お役に立てる様に一生懸命努めさせて頂きますので、どうぞ講演の機会を検討して頂きますよう、何卒、宜しくお願い致します。

「100年の樹」ブルーライトアップ実行委員会
代表 岩川 幸造